⑯　評価の担保

１）技術提案等について

受注者の責めにより､「覆工コンクリートの品質・耐久性向上に関する施工計画」の入札時の技術提案（具体的な施工計画）を遵守できなかった場合は、当初契約時の評価点合計に対する履行できなかった技術提案の加算点の比率に相当する額（詳細は入札説明書による）を違約金として徴収するとともに､評定点の減点を行うものとする。評定点の減点は、不履行となった技術提案の加算点を減点する。

ただし、違約金は、当初契約額の10%を限度､評定点の減点は最大10点を限度とし、特に悪質な場合は、最大20点を限度に減点するものとする。また、低入札価格調査制度調査対象工事については、評価項目毎に「満点」に相当する点を減点する。

⑰　契約締結後のＶＥ提案　契約締結後、受注者は、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、発注者に提案することができる。提案が適正と認められた場合には、設計図書を変更し、必要があると認められる場合には請負代金額の変更を行うものとする。ただし、総合評価における評価項目については契約締結後のＶＥ提案の対象外とする。

詳細は特記仕様書等による。

⑱　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加　上記２⑵に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記４⑶により申請書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

⑲　低入札価格調査制度調査対象工事の場合には、不当廉売の疑いがあるものとして公正取引委員会に報告することがある。

⑳　支払条件　本工事において、中間前金払に代わり、既済部分払を選択した場合には、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施する「出来高部分払方式」を採用する。

㉑　本案件は、資料提出及び入札等を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細は入札説明書による。

㉒　詳細は入札説明書による。

６　Summary

⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Kazuhiko Toda Director-General of Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure and Transport and Tourism

⑵　Classification of the services to be procured : 41

⑶　Subject matter of the contract : Construction work of Higashihiroshima-Kure-road nominoo tunnel

⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 5 : 00 P.M. 9 October 2012

⑸　Time-limit for the submission of technical proposal : 5 : 00 P.M. 9 November 2012

⑹　Time-limit for the submission of tenders : 1 : 30 P.M. 21 December 2012

⑺　Contact point for tender documentation : Contract Division, General Affairs Department, Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 6―30, Kami-hacchobori, Nakaku, Hiroshima 〒 730―8530 TEL 082―221―9231 Extension 2526

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成 24 年９月 26 日

独立行政法人宇宙航空研究開発機構

情報・計算工学センター長　嶋　　英志

◎調達機関番号　587　◎所在地番号　13

１　調達内容

⑴　品目分類番号　14、71、27

⑵　導入計画物品及び数量

スーパーコンピュータシステム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入目的　本システムは、ＪＡＸＡプロジェクトへの適用や開発技術革新について、開発期間短縮、信頼性向上、実験では再現困難な条件や詳細なデータ取得による高度な設計の実現を目指し「動的流体解析による開発技術革新およびＪＡＸＡプロジェクトへの適用」を主目的として、当機構における中核電子計算機システムとして導入するものである。

⑸　導入予定時期　平成26年４月以降

⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件　導入を計画しているスーパーコンピュータシステムは、計算エンジン部、ファイルシステム部、アーカイバ部、遠隔部、管理・制御部並びに関連するハードウェアとソフトウェアからなる総合システムであり、その基本的要求要件は以下のとおりである。

Ａ　計算性能　計算エンジン部は、理論ピーク性能で１～６ＰＦＬＯＰＳ程度を有し、ＧＰＧＰＵ等のアクセラレータは搭載せず、ＪＡＸＡ研究者の保有する数値計算コードを高速に実行できる性能及び機能を有すること。インターコネクトは、高い演算効率を達成できる構成とすること。また、当機構が指定するプログラムを用いたベンチマークテストの結果が所定の要件を満たすこと。

Ｂ　主記憶容量　計算エンジン部における主記憶容量は，全体で600ＴＢ程度有すること。

Ｃ　計算エンジン部の機能　計算エンジン部は、プログラム開発、コンパイル、チューニング等を行うとともに、バッチジョブ、会話型ジョブ、１ＴＢ程度の大規模共有メモリが必要なジョブの実行や、格子生成や可視化処理を行うことができる性能及び機能を有すること。また、遠隔からの利用も含めて安全かつ高速に可視化処理等ができること。

Ｄ　ファイルシステム　物理容量で10ＰＢ程度の大容量ディスクアレイからなること。

Ｅ　アーカイバ　物理容量で100ＰＢ（非圧縮）程度の大容量テープライブラリからなること。また、これに見合うディスクキャッシュを有すること。更に、現行のアーカイバ上のファイル資産を、迅速かつ容易に移行可能なこと。

Ｆ　遠隔部の機能　遠隔部は、ポータビリティや使い勝手に優れ、高速データ処理や計算エンジン部と同様の動作環境を提供可能であること。また、各事業所からのネットワーク利用を踏まえたシームレスなファイルシステム環境を構築できること。

Ｇ　オペレーティングシステム　ＵＮＩＸ／Ｌｉｎｕｘに準拠すること。ＵＮＩＸ／Ｌｉｎｕｘ系ワークステーションやＷｉｎｄｏｗｓ、Ｍａｃ等のパソコンと高速なネットワークを介した利用環境を実現可能なこと。また、各システムを通じて統一のとれた利用環境を提供すること。

Ｈ　プログラミング言語　ＦＯＲＴＲＡＮ、Ｃコンパイラ及びＭＰＩ等の並列通信ライブラリ、科学技術計算ライブラリを提供すること。また、プログラムの開発支援環境を有すること。

Ｉ　システム構成・運用の柔軟性　大規模ジョブやパラメータスタディ用の大量ジョブが効率よく実行できるシステム構成であること。また、センター運用を支援する機能・機構が提供されると共に、トータルシステムとして一体的に運用管理できること。

Ｊ　信頼性　ハードウェア及びソフトウェア両面にわたって高い信頼性を有し、障害時には迅速な対応が可能なこと。

Ｋ　移行性　現行のプログラム／データ資産が、処理性能の低下を招くことなく、迅速かつ容易に継承可能なこと。

Ｌ　セキュリティ　高度なセキュリティ機能を有すること。

Ｍ　ジョブ管理　多種多様なジョブ（ジョブの大小・多寡、優先実行ジョブ、設備貸付等）に対して、柔軟なスケジューリングができること。運用・利用の効率化に必要な様々な情報を取得可能なこと。

Ｎ　電力量削減　東京都の「大規模事業所への温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」の第二計画期間（2015年度～2019年度）における削減義務率（現在は、暫定で－17%）に対応できるよう、総消費電力量を空冷/冷却設備も含めて削減できること。使用電力の管理ができること。既存の電力設備を利用可能なこと。